

仮想アース Crystal E の導入(22)(HP 収載) ープリメインアンプー

1. 始めに

前報(17)のパッシブアテネーターに引き続く、プリメインアンプへの仮想アース Crystal E の導入について検討していきます。

2. Crystal E の試聴方法

EMI DLS529 を駆動しているプリメインアンプの Rogers Cadet III にアース端子があることを見逃していましたので、Rogers Cadet III に Crystal E を適用してみます。

Brooklyn DAC+→TruPhase→ExPro SV-1→Rogers Cadet III→EMI DLS529
なお、Brooklyn DAC+ の Crystal E を外して Rogers Cadet III に使いますので、Brooklyn DAC+には前報(18)で製作した仮想アースを接続します。



さらに、Rogers Cadet III の Crystal E は外して、元の Brooklyn DAC+に戻したうえで、Rogers Cadet III から EMI DLS529 への出力端子に前報(20)で製作した仮想アースを接続してみました。



音源はアナログ再生で、アナログ再生系には Crystal E を接続済です。

音源は、バッハの Sonatas & Partitas とワーグナーのワルキューレと倍賞千恵子のアナログ盤です。

3. Crystal E の試聴結果

まず、現状のアースなしの状態では聴いておき、ついで Crystal E の効果を聴いていきます。

バッハの *Sonatas & Partitas* では、Rogers Cadet III のアース端子に Crystal E を接続しますと、ヴァイオリンの音が澄んで、コーンツイターとは思えないほど、EMI DLS529 の倍音が伸びているように聴こえます。

ワーグナーのワルキューレでは、オーケストラの各パートの音の分離が向上し、ソプラノやメゾソプラノの歌手達の定位も明瞭になります。

倍賞千恵子では、Crystal E を接続しますと、声とバックの伴奏の音像が明瞭になり、歌唱のニュアンスがより鮮明に伝わってきます。

また、Rogers Cadet III から EMI DLS529 への出力端子に前報(20)で製作した仮想アースを接続しますと、バッハの *Sonatas & Partitas* では、上記の Rogers Cadet III に Crystal E を適用した場合と同様の傾向の変化がありました。

ワーグナーのワルキューレでは、上記の Rogers Cadet III に Crystal E を適用した場合と同様の傾向の変化がありました。

倍賞千恵子では、上記の Rogers Cadet III に Crystal E を適用した場合と同様の傾向の変化がありました。

しかしながら、同時比較ではありませんので確かなことは言えませんが、印象としては Rogers Cadet III に Crystal E を適用した場合より、EMI DLS529 への出力端子に前報(20)で製作した仮想アースを接続した場合の変化の程度は小さいように感じます。

4. まとめ

Rogers Cadet III のアース端子に Crystal E の接続の効果を認めました。また、Rogers Cadet III から EMI DLS529 への出力端子に前報(20)で製作した仮想アースを接続する効果を認めました。

以上